



日々変貌する状況下において
今考えるべき働き方

 KUROGANE

CONTENT

01 はじめに

02 現在のオフィス環境から見える課題

1. コロナ禍における
2. 日常的視点から

03 より豊かに働くオフィスづくり

1. ポイント
2. 基準レイアウト

04 スペースプラン

1. フリーアドレス
2. フリースペース

ABWを取り入れたフリーアドレス

ABWとは

ABWとは、アクティビティ・ベースド・ワーキング（Activity Based Working）の略。

オフィス内に、仕事のさまざまな活動（アクティビティ）に適したワークスペースを用意し、個人がデスクを固定せず、作業内容に応じて働く場所を変えられる勤務形態です。

フリーアドレスとの違い

働く場所が自由に決められるという点では、ABWはフリーアドレスと似ていますが、その考え方が異なります。

フリーアドレスとは、個人が固定のデスクを持たずに、フロア内にあるオフィスデスクの好きな場所に着席して仕事をするスタイルです。

一方、ABWは、働く人の活動に基づいてオフィスが作られています。フリーアドレスで使える場所は一般的にオフィスデスクのみですが、ABWで選べるのは、仕事内容に適したさまざまなワーキングスペース。ABWを取り入れたオフィスには、デスクワークができるデスクのほか、集中して仕事ができる個人用ブース、リフレッシュやカジュアルなミーティングができるソファ、少人数でのアイデア出しに便利な設備が揃う部屋、音漏れしない電話用のボックスなど、さまざまな業務に合った場所があります。働く人ひとりひとりが自律的に時間の使い方や効率性を考えながら、場所を決めて働くのがABWです。

メリット

✓ 生産性が向上する

作業内容に合った場所で働くことができるため、仕事の生産性が上がります。個人の資料作りなど集中的なデスクワークに適した場所や、ミーティング用の機材が揃った部屋など、それぞれの業務に適した場所を使うことで、固定のデスクで働くよりもスムーズに仕事を進めることができます。

✓ 業務に集中する時間が確保できる

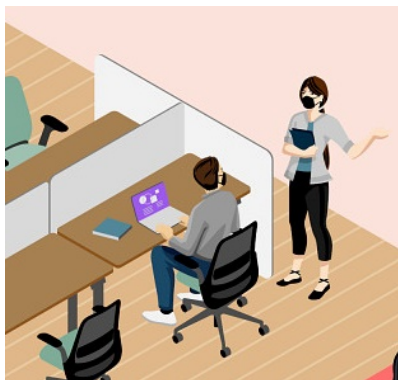
ひとつの業務に集中したいとき、固定のデスクで作業をすると、他の仕事が目についたり、電話がかかってきたりして中断されてしまうことも。ABWの個人用ブースを使えば、まとまった時間、遮られることなく仕事を進めることが可能です。

✓ ワーカーの満足度向上

ABWを導入したオフィスでは、好きな場所で働くことができるため個人の自由がききます。場所に縛られる不満や、進めたい仕事を中断せざるを得ないといったストレスが軽減され働きやすくなるため、ワーカーの満足度が向上します。

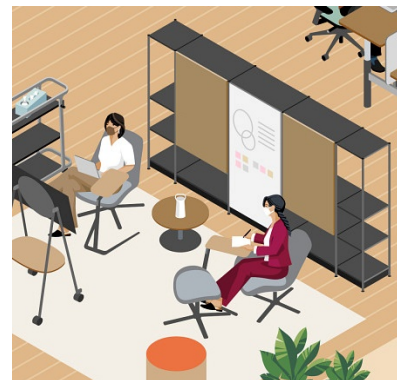
02 現在のオフィス環境から見えてくる課題 | 1. コロナ禍における

安全を確保出来ると同時に、“安全だと実際に感じられる”ことが大切です。対策が十分にされていると感じていますか？



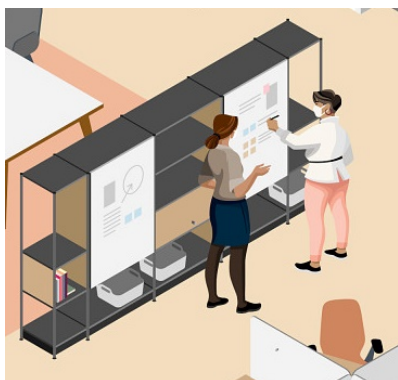
最低限の距離が確保できておらず、視覚的安心が得られない。

- 最低限の距離の確保
→オフィス全ての場所において最低限の距離、2mを保てる場所を作ることが必要です。
- デスク間の距離確保
→相互に距離を保てるように配置します。



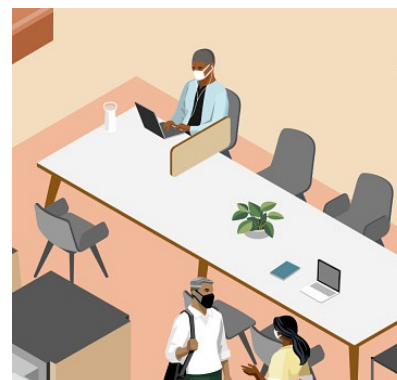
仕切りを使っでのスペース分割がされていない。

- ソーシャルディスタンス
→距離をとることが難しい場合は、スクリーンやパネルの設置で対策が必要です。
- 可動式
→利用目的に合わせてスペースを仕切るなどスペースの有効活用も考慮できます。



人々の密度が高く、心理的安心が得られない。

- オープンエリアの活用
→複数人での会議の場合は、可動式のホワイトボードやその他の家具を駆使して他のエリアとの境目を作りつつオープンエリアにて行うようにします。
- セパレーションを追加
→スクリーン、収納、植物やパーティションを使って分割します。



密集度や規則性に配慮されたレイアウトではなく、対面に配置されている。

- 家具の配置
→正面に向かないよう、例えば90度に角度を変える等の工夫を行います。

02 現在のオフィス環境から見えてくる課題 | 2. 日常的視点から

日常的に下記のロスが発生してます。心当たりがありますか？



それぞれが異なるのにワーカーが全員同じデスクで、同じ装備の会議室で生産性は上がらない。

■日々の業務で使用ツールが異なります。
ノートパソコン・iPad・スマホ・TV会議

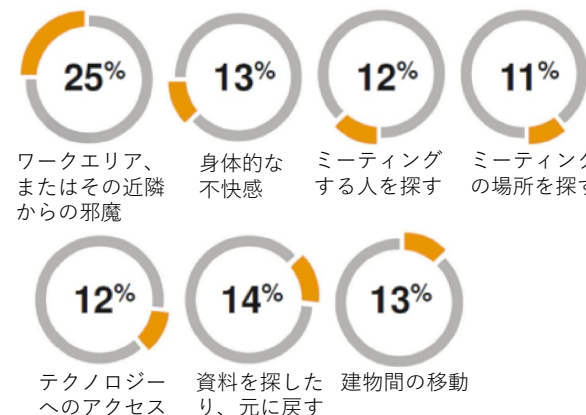
■生み出すものが異なります。
・コミュニケーション
・コラボレーション
・創造性
・イノベーション

■ストレスの要因が異なります。
ワーカーの37%は身体的な不快さのために
毎日最大30分は時間をロスしています。



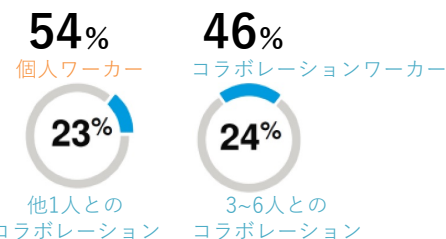
ロスタイムを費用換算すると企業の大きな損失が発生している。

■日常における様々なロスタイム
(7つのロスタイム)

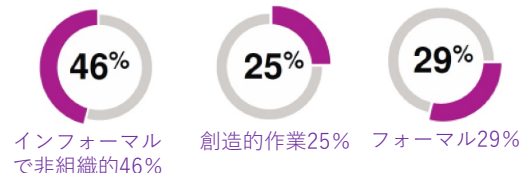


仕事する人数、コラボする人数も異なるのに一辺通りのコラボレーションスペースでは生産性は上がらない。

■作業タイプも人によって違います。



■コラボレーションタイプも違います。



障害があるのを排除しなければ生産性は上がらない。

■仕事では3分毎に作業を切り替えています。

→集中できない
11分毎に邪魔が入る（上司、同僚からの話しかけ、電話等）集中が途切れる

■フローの状態に戻るまで25分かかります。
→集中が途切れて元の集中できるまで25分かかる

👍 #ワーカーが望むモノ
👎 #ワーカーが必要なモノ

03 より豊かに働くオフィスづくり | 1. ポイント

従業員が必要とし、期待している8つのポイント

POINT 安心・安全を感じる

①

これからのオフィスでは、火災や事故、怪我といった従来の安全基準に加え、ウイルス蔓延防止などの安全対策が必要です。感染対策といった新たな基準が、ワーカーそれぞれがどこで働くかを決定する鍵となります。

コントロール性の向上

POINT

⑤

在宅勤務で気が散ることがなくなったと感じる人もいる一方、10か国中9か国がオフィス勤務復帰の理由の上位に「静かで本物の仕事環境」を挙げています。仕事をこなす場所として自宅は理想的ではありません。また、マルチな活動をするチームは、作業内容に合わせてプライバシーのレベルを自ら調節でき、ツールや家具を動かしながら仕事ができる柔軟性を望んでいます。

帰属意識が高まる

POINT

②

在宅勤務の中で感じる孤立感や士気の低下は、世界でも最大懸念事項として捉えられています。オフィス勤務復帰を望む最大の理由は、同僚とつながり、仲間意識を感じ、自発的に組織やチームに貢献したいからです。このことはワーカーに満足度や幸福感をもたらすだけでなく、最終的には企業の成果にも繋がります。

集中できる環境

POINT

⑥

一般的なワーカーは11分毎に近隣からの邪魔が入り集中が途切れます。他人からの邪魔がはいらないような1人用ブースなど短時間で集中できる環境を求めています。日常における様々なロスタイムを減らすことで、ワーカーにとっても企業にとっても大きな利点となることが期待できます。

生産的になる

POINT

③

コロナ禍において、価値観が変化し、何かに役に立つ意義のあることをしたい、仕事でのやり甲斐や喜び、目的を感じたいと考える人が増えています。ワーカーがオフィスに望むこととは、効率的で実用的な環境が整っていることです。

使用ツールと目的に合った装備

POINT

⑦

日々の業務の中で、ワーカーによって使用ツールも、生み出すものも、ストレスの要因も異なります。ワーカー自ら最適な環境を選び作業することが、生産性を高める大きな要素になってきます。

包括的な快適さ

POINT

④

コロナ禍前、オフィスに勤務する40%の人は、身体的な痛みや不快さから一日中同じ姿勢を続けるのではなく、頻繁に姿勢を変える環境を求めています。しかし、コロナ禍の長期に及ぶ在宅勤務で気がいたら長時間同じ姿勢や座りっぱなしであることが多々ありました。今、オフィスでは一日中動きながらさまざまな場所や姿勢で働くことができ、また静かで邪魔されない環境が求められています。

使用人数と作業タイプに合ったコラボレーションスペース

POINT

⑧

作業タイプは大きく個人ワーカーとコラボレーションワーカーの2つに分かれます。コラボレーションタイプも、インフォーマルなものから創造的なものなど様々なタイプがあります。それぞれに合った環境で行うことで、より生産性が高いコラボレーションが行えます。

03 より豊かに働くオフィスづくり | 2. 基準レイアウト

これらの課題を、1つのスペースで解決するのが、ABWを取り入れたフリーアドレスです。

コミュニケーションの不足、Web会議のスペース・設備確保、顧客との交流等の課題に、オフィスだからこそできる仕事のための5WORKMODESをご提案します。

フリーアドレス

A 執務・集中

フリースペース

B コラボレーション

C 社交・交流

D 学び

E エネルギーチャージ

囲われた空間で
リラックス

1人用シェルターで
快適な集中

情報・知識の
インプット

デスクパネルで区切る

対面にならないように
座る

デスクパネルで区切る

移動式の家具で
目的に合わせてスペースを構築

Face to Faceの
コミュニケーション

アイデアの共有・
効率の良いコラボレーション

複数でのWeb会議や
双方向のコラボレーション

フロアの核となる
オープンミーティング

エントランス付近での
ウェルカムミーティング

Web会議用の
1人用ブース

偶発的なアイデアを生む
リラクスペース

A

新オフィスでの期待出来る効果

- ①安全・安心を感じる
- ②帰属意識が高まる
- ③生産的になる

執務・集中エリア デスク

- ・使用人数が固定されないベンチ型。
- ・デスクとデスクの間にサイドテーブルをはさみ、必然的に距離を保つことができる。
- ・孤独感を感じる在宅勤務とは違い、同僚とつながり、仲間意識を感じ、自発的に組織やチームに貢献したいと思える。
- ・デスクハイトが選べる。
- ・オプションの組み合わせでプライバシーをコントロールできる。
- ・配線機能が優れていてツールに対応しやすい。
- ・デスクパネルを組み合わせで飛沫感染を予防。



執務・集中エリア チェア

- ・可動肘で継続的に腕をサポートする。
- ・背もたれが背骨や身体の動きに追従する。
- ・卓越した調節機能で、様々な身体の形状やサイズの人を的確にサポートする。
- ・標準タイプ、スツールタイプ、ヘッドレストやコートハンガーなど、幅広い嗜好やワークスタイルに対応可能。
- ・豊富な仕上げで、企業ブランドに合わせた演出が可能。



A 執務・集中エリアには3種類のデスクをご提案します。

→使用人数が固定されないベンチ型。

FU BENCH 【FUベンチ】



デザイン性を高める
テーパー形の天板と脚

天板つなぎ目も
美しく見せる工夫を施しています



最長3000mmのスチール 1枚天板

フリーアドレスプランに

スチール天板の採用により天板裏もフラットで
ワゴンフリーな構造です。
フリーアドレス導入に際しても端から端まで
利用できます。

→サイドテーブルで距離を保つことが可能。

→高座位タイプはコミュニケーションが容易にとれる。

Navi TeamIsland 【ナビチームアイランド】



ストレージレッグ

デスク高と高座位で利用できるストレージレッグ
は、私物アイテムのプライベートな収納スペース
として最適です。レッグ上部は便利な「バッグド
ロップ=鞆置き」としても機能するデスクを設
置します。

→豊富なオプションで1人1人の環境をサポート。

WorkLet's 【ワークレッツ】



■ フロント
スクリーン



■ 立体的な収納に
便利なポケット



■ ファンクション
ビーム用オプション



■ コンセント
ユニット

A 執務・集中エリアには3種類のチェアをご提案します。

→可動肘で継続的に腕をサポートする。

Gesture 【ジェスチャー】



360アーム

肘部はアームキャップ下のレバーをつまみながら360度に動かすことが可能なので、どんな姿勢でも腕を継続的にサポートします。アームキャップはスライドさせるだけであらゆる角度に動き、調節できます。

→卓越した調節機能。

Leap 【リープ】



座面奥行き調節

人それぞれに体格が違うため、座面の奥行きを調節することにより、体格が違っていても、長期的に快適な座り心地を確保できます。

背もたれ上部反力・下部強度調節機構

背もたれの上部和下部をそれぞれ調節できます。ユーザーの体格や好みの強さで快適なリクライニング姿勢をとることが可能です。

→背もたれが背骨や身体の動きに追従する。

Series 2 【シリーズ・ツー】



AIR LIVEBACK™

Air LiveBack™（エア・ライブバック）機構は、革新的な幾何学模様と相まって高性能なサポート力を実感できます。透明感のある波型模様は、ムレにくく通気性にも優れ、伸縮しながら背骨や身体の動きに追従し、快適なホールド感を生み出します。

B C D E

新オフィスでの期待出来る効果

- ③生産的になる
- ④包括的な快適さ
- ⑤コントロール性の向上
- ⑥集中できる環境
- ⑦使用ツールと目的に合った装備
- ⑧使用人数と作業タイプに合ったコラボレーションスペース

〔B〕 コラボレーションエリア

- ・ 立位スタイルで短時間の軽い打ち合わせや、コラボレーションができる。
- ・ 執務エリア以外でのワークエリアとしても利用可能。
- ・ アイデアの共有・効率のいいコラボレーションを行うことができる。

〔C〕 社交・交流

- ・ TV会議やWEBミーティングなどにも応用可能。
- ・ オープンスペースで新しいアイデアの創出に繋がる。
- ・ 移動が簡単で柔軟性の高いもの。



〔D〕 学び

- ・ 囲われた空間では周りを気にせず新たな情報や知識の吸収に集中できる。
- ・ リラックスし、1人で快適な集中ができる。
- ・ 騒音をシャットアウトし、周囲を気にせずWeb会議に参加できる。

〔E〕 エネルギーチャージスペース

- ・ 休憩や活力補給のための、リビングの様な落ち着いた空間。
- ・ 偶発的なアイデアが生まれるきっかけとなる。
- ・ 自由な動きを可能にし、快適に過ごせる。



B コラボレーションエリアには2種類のテーブルと、スツールをご提案します。

→短時間で軽い打ち合わせや、コラボレーションができる。 →執務エリア以外でのワークエリアとしても利用可能。

Navi TeamIsland 【ナビ チームアイランド】



エンドテーブルで瞬時に集う

会議室の代わりに執務エリア内に瞬時のコラボレーションが可能な「場」を創出し、チーム力をより強固なものにします。

Campfire BigTable

【キャンプファイヤー ビッグテーブル】



人が集い、仕事がこなせる

「座る」「立つ」の2種類の高さを用意。また照明、電源コンセントなどを取り付けられるセンターレールをチョイスでき、生産的に仕事をこなせるパーフェクトな「場」を創出します。

→カジュアルミーティングスペースにぴったりなスツール。

Enea Café Wood Stool

【エネア カフェ ウッド スツール】

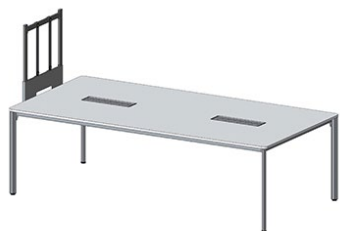


カジュアルにまとめられたミーティングスペース
軽く腰掛けることができるスツールで、温かみもあるモダンなデザイン性を際立たせています。魅力的でカジュアルにまとめられたワークスペースを演出します。

C 社交・交流エリアにはモニタースタンド付テーブルと、2種類のオープンスペース用コレクションをご提案します。

→TV会議やWEBミーティングなどにも応用可能。

Fellow Dash 【フェローダッシュ】



モニタースタンド付テーブル

モニタースタンド付テーブルは
モニターの情報を共有し、アイデアの交換など、
活発で迅速なコラボレーションが可能です。

→オープンスペースで新しいアイデアの創出に繋がる。

Campfire Collection

【キャンプファイヤー コレクション】



高い柔軟性

パーソナルでカジュアルな空間を創造でき、
その高い柔軟性で魅力的なコラボレーション
スペースにもなるラウンジコレクションです。

空間をスクリーンで区切る

メッシュ素材のスクリーンは、まわりとの視
覚的なコンタクトもありながらプライバシー
を確保できる便利な間仕切りです。

→移動が簡単で柔軟性の高いもの。

Flex Collection 【フレックス コレクション】



チームの個性を活かしたスペースづくり

オプションのホイールは、高度な走行性で家
具を簡単にスムーズに移動できます。
その安定性と誰でも即座に動かせる可動性が
チーム活動を的確にサポートします。

D 学びエリアには3種類の1人用ブースをご提案します。

→シェルター機能で集中力を維持。

Brody WorkLounge 【ブロディ ワークラウンジ】



**周囲を気にせずWebセミナーやZOOM会議
などへの参加**

ワーカーの最大の課題はいかに「集中力」を維持できるかということです。
視覚的刺激を最小限にするシェルター機能でプライバシーと包まれるような心理的安心感を提供します。
アンクレイブ(隠れ家のような集中スペース)に代わるスマートなソリューションとして、オフィスのデッドスペースを心地よい集中と休息の「場」へと変換します。

→オープンオフィスの中に、ブース型セッティング。

HANARE 【ハナレ】



執務エリアから離れて集中

1人用ブースは、まわりから邪魔されずにアイデアをまとめたい、短時間で密度の高い作業をしたい時や、Webミーティングなどにおすすめです。
2人用ブースは、上司との個人ミーティングや報告業務、面談、高い集中度が必要な1対1のワークモードの場面におすすめです。

→高レベルの音響快適性を提供する、スタンドアロンの1人用作業ブース。

Coppice 【コビス】



吸音パネルで快適性を高める

吸音性のあるデスクパネルにより、快適性が高まります。
また、無駄の少ない組み合わせによりスペースを効率的に利用できます。

E エネルギーチャージエリアには3種類のラウンジコレクションと、2種類のチェアをご提案します。

→休憩や活力補給のための、落ち着いた空間。

B-Free Lounge 【ビーフリー ラウンジ】



ユーザーをサポートする様々な機能

バッグ・ドロップは個人の持ち物の収納と電源を確保でき、半透明のスクリーンは、プライバシーが保たれ、ワークスペースとの差別化が容易です。

また、組み合わせによって多彩なレイアウトを演出することができ、再構成も容易なモジュラー式家具です。スペースの核として人が集う「場」を創り出します。

→偶発的なアイデアが生まれるきっかけとなる。

Buoy 【ブイ】



人間の自由な動きを可能にする

レバー操作で14cm範囲の高さ調節が可能です。カーブしたベースラインが自由な動きを加速します。また、約9kgの軽さを実現。ユーザーが行くところ、どこにでも簡単に持っていけるように設計デザインされています。

→ 自由な動きを可能にし、快適に過ごせる。

Lagunitas 【ラグニタス】



変化する姿勢に柔軟に対応

背もたれもクッションを適切に配置することで、リクライニングしながらのリラックスモードから、前傾姿勢のワークモードまで、様々な姿勢を瞬時にサポートします。

Steelcase®
AUTHORIZED DEALER



KUROGANE

株式会社くろがね工作所
www.kurogane-kks.co.jp

お問い合わせは各営業所までお願いします。

東 京 〒105-0014 東京都港区芝1-10-13 芝日景有楽ビル
TEL. 03-5439-9111 / FAX. 03-5439-9115

札 幌 〒060-0001 札幌市中央区北一条西7丁目3 (北一条第一生命ビルディング)
TEL. 011-281-2373 / FAX. 011-281-2367

名古屋 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目20-27 (御幸ビル)
TEL. 052-253-6985 / FAX. 052-253-6986

大 阪 〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4-24 (大阪四ツ橋新町ビル)
TEL. 06-6538-1012 / FAX. 06-6538-7434

山 口 〒753-0074 山口市中央5-15-20 (オデオンK)
TEL. 083-928-6115 / FAX. 083-928-6108

福 岡 〒810-0012 福岡市中央区白金1丁目2-21 (Wビルディング渡辺通)
TEL. 092-523-1440 / FAX. 092-523-1442